

新潟市における事業(取り組み)と目標

資料 2-2
令和3年度 第1回
新潟市介護人材確保対策協議会
令和3年8月27日開催

事業名	取り組み概要	実施時期	令和2年度実績	令和2年度実績を踏まえた課題	令和3年度計画
介護職員等キャリアアップ支援事業	介護サービス事業を行う法人が、介護職員等に対する研修や、資格取得に係る経費などを法人が負担した場合、市が補助金を交付することで介護人材育成・確保を支援するもの。	通年	助成件数:13件	新型コロナウイルスの影響もあり、キャリアアップ支援事業費補助金の助成件数が減少した。令和3年度は、多くの事業所が事業を活用できるよう、メールで再度周知を行う。	助成件数:20件
介護施設見学会	介護職に興味がある人を対象に、ハローワークと共同でオンラインまたは事前に施設内を撮影した映像を使用し、介護施設見学会を実施。現場の職員から介護の仕事を選択した経緯や印象的な経験について話してもらうことで、参加者の職場理解を深め、就職につなげる。	通年	実施回数:2回 参加人数:延べ58人	新型コロナウイルスの影響もあり、オンラインでの開催となった。令和3年度も、引き続きオンラインでの実施を予定しているが、感染状況が落ち着いてきた場合の実施方法について検討が必要である。	実施回数:2回 参加人数:延べ60人
医療と介護の出前スクール	介護事業所で勤務する職員に協力を募り、小・中学校、高校で介護の魅力発信をすることで、介護職のイメージアップ・理解促進を図る。地域医療推進課と共同実施。	5月～翌年3月	訪問回数:25回	介護事業所の職員からの協力により、多くの学校を訪問出来た。令和3年度は介護の魅力発信動画を活用し、引き続き魅力発信に努める。	訪問件数:30回
新潟市介護人材確保対策協議会	介護人材の確保に向けて、関係者(事業者・養成校・行政)が現状課題の抽出や対応策の可能性について協議することにより、それぞれの役割や取り組むべきことを確認し、それを実現していくための具体的な方向性を見出すことを目的とする会議。	通年	開催回数:3回	-	開催回数:2回

介護サービス事業所における事業(取り組み)と目標

事業名	取り組み概要	実施時期	令和元年度実績	令和元年度実績を踏まえた課題	令和4年度計画
処遇改善加算の取得	処遇改善加算及び特定処遇改善加算を取得することで、介護職員の処遇を改善するとともに、キャリアパスや職場環境の整備に努めていることを対外的にアピールする。	通年	処遇改善加算取得率:95.1% 特定処遇改善加算取得率:63.3%	-	R1実績を上回る
サービス提供体制強化加算の取得	サービス提供体制強化加算を取得することで、介護従事者の専門性等に係る適切な評価及びキャリアアップを推進、また職員の早期離職を防止して定着を促進する。	通年	-	-	-
外国人介護人材の受け入れ数	外国人介護人材の受け入れるにあたり、文化や宗教、慣習などに対する理解を深めることも重要であるため、事業所全体で情報を共有するとともに、日本語研修や介護技術向上のための研修を充実させるなど外国人人材がなじみやすい環境を整える。さらに、他の外国人介護職員に指導・助言する役割や、施設・事業所に定着するロールモデルになっている職員のように、リーダー的職員の育成を行う。	通年	外国人介護職員の人数:34人	-	外国人介護職員の人数:68人

新潟青陵大学における事業(取り組み)と目標

事業名	取組概要	実施時期	令和2年度実績	令和2年度実績を踏まえた課題	令和3年度計画
新潟青陵大学・短期大学部(Web)合同企業フェア	県内の企業及び社会福祉法人に参加を呼びかけ、学生に多くの企業・社会福祉法人に触れ、視野を広げて学生にとって一番向いている業界を見つけることを目的に開催。	毎年2月ころ	コロナ禍の状況を鑑み、2021年2月17日～3月31日の開催期限を設け、Web化し、オンラインの合同企業フェアとして開催に至った。企業・社会福祉法人54社(うち社会福祉法人3法人)が参加。 学生:大学42名(内社会福祉学科30名)、短大68名(内介護福祉コース15名)がWeb参加。	感染症防止対策を引き続き検討しながらの開催手法検討となる。DX、オンライン対応の利点を活かした学生支援、社会福祉法人支援の必要性が増大すると思われる。	2022年2月下旬より、コロナ禍継続を鑑み、Web対応で推進予定である。(参加企業、事業所未定)
看護職&介護職の就労支援講習会 —高齢者ケアの学びなおし—	看護職・介護職で、高齢者ケアや高齢者施設での就労に興味・関心のある方を対象としての講習会。 老人介護施設で働く看護職は、学習希望がありながら現場の業務に追われ、なかなか学習機会に恵まれないという現状が分かってきた。看護の質を高めるための講習会実施の要望も聞かれたことから、2019年度からは看護職のみならず、老人介護施設で働く介護職にも呼びかけて、看護職と介護職が共に学べる内容として実施した。	2～3月	新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施しなかった。	過去の実績を踏まえ対象者や講座内容の検討が必要。	新型コロナウイルス感染状況を見極めつつ、実施可否も含め検討する。
介護職員初任者研修課程	研修内容を修得することにより、高齢者(障害者)への理解を深め、福祉サービスに関する知識や実践的な介護技術を身につけ、介護職員としての役割を果たすことができるようになる。また福祉サービスを提供する職業を選択することや、社会福祉施設等におけるボランティア活動、社会福祉士及び精神保健福祉士の実習などに役立てることができる。	毎年5～7月 ※2020年度のみ10～12月実施	令和2年度は、例年前期開催だったが対面授業の全面中止という本学の方針により、後期開催で実施中。 開講期の変更もあり、受講者数が特に少ない結果となった	福祉を目指す学生に対して介護の基礎を学ぶことは業務の幅を広げるためにも大切であることを周知することが大切である。 H29実績 大学生17人 H30実績 大学生3人 R1実績 大学生7人 R2実績 大学生3人 R3実績 大学生4人	新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと安全な研修を実施する。

国際こども・福祉カレッジにおける事業(取り組み)と目標

事業名	取組概要	実施時期	令和2年度実績	令和2年度実績を踏まえた課題	令和3年度計画
児童・生徒を対象とした見学会	校舎見学、介護体験で学科説明を行う。	4月～12月	5月～ 9校実施	コロナ禍で、見学、体験に来た中学は激減した。 参加してくれた生徒には、福祉をわかりやすく説明し、生徒からの感想にも理解できたことが書いてあった	各学校、各業者からの依頼は全て介護、福祉心理で受け入れる
ガイダンス参加	・事務局との連携により、トーク内容を精査	通年	個別ガイダンス 9名 高校ガイダンス 83校	前半はコロナ禍で、中止になることが多かったため、個別相談も実施した。	主に事務局が実施するが、福祉、介護と希望があった場合は、極力教員が参加する
HP	・事務局が中心となり、教務方針をアピール	通年		わかりやすいものにするため、常に各課で精査した	前年度と同様
オープンキャンパスでの施設見学	・施設の中でのデイサービスのレクリエーションを体験。	6月、7月、8月	なし	コロナ禍で、近隣の施設には受け入れてもらえなかった	コロナ禍でも実施できるオンラインレクリエーションを検討
学校訪問	・パンフ・募集要項・指定校案内等を持参	5月、9月、12月	延べ202校訪問	6、7月に募集要項、指定校案内を持参する 10月には再度訪問し、他の月は必要に応じて訪問した 福祉系は教員が分担して実施した	6～7月、9～10月と高校訪問を実施予定

新潟医療福祉カレッジにおける事業(取り組み)と目標

事業名	取組概要	実施時期	令和2年度実績	令和2年度実績を踏まえた課題	令和3年度計画
高校への介護体験の実施	進路相談企業を通じて高校生へ介護の仕事体験・専門学校の魅力などを発信する	通年	小学校の来校が4件あった 高校訪問などは20校程度あった	依頼があったものに対しては対応していきたい	高校生の介護希望者が減少しているようで依頼は少なくなっている。
小学校中学校の学校訪問(介護)の受け入れ	小学校・中学校の高等教育体験として訪問を受け入れている	通年	4校からの受け入れを行った	コロナの流行時期は断ったこともあった。令和3年度については積極的に受け入れていく方針	受け入れ希望があれば県内の感染状況を踏まえて受け入れていく
就職ガイダンス・キャリア教育	現場の職員に学校にきてもらい授業を行う、介護実習や体験などキャリア教育を行っている。就職時には就職ガイダンスも実施している。	通年	現場職員にきてもらう企画は6回行った。企画自体は中止せずオンラインで対応した	オンラインも可能としてイベントの継続を続けていきたい	今年度も6回計画した。現在はオンラインと対面を併用し対応している。
外部向けに実務者研修や各種研修を開催	卒業生また、一般介護職員に対して、通学部ではない部署が開催している。	通年	16講座を企画したが4講座のみ実施し残りは中止した。	はじめからオンラインで研修できるように計画をした。	今年度は9回研修を開催する予定(4講座はオンライン5講座は対面型)

新潟医療福祉大学における事業(取り組み)と目標

事業名	取組概要	実施時期	令和2年度実績	令和2年度実績を踏まえた課題	令和3年度計画
「介護の日 県民の集い」参加	「福祉・介護・健康フェア」(介護の日 県民の集い)におけるリーフレット・写真・ポスター等の掲示	11月	①『知る・学ぶ「福祉・介護・健康」』新潟地区会場の開催に参加(「介護の日」県民のつどい) 期日:11月14日(土)10:00~16:00 会場:新潟日報メディアシップ 2階日報ホール 内容:介護福祉士養成施設紹介展示 来場者数:140人 ②『知る・学ぶ「福祉・介護・健康」』in長岡に参加(「介護の日」県民のつどい) 期日:11月21日(土)~29日(日) 会場:新潟日報長岡支社メディアぶらっと 内容:介護福祉士国家資格及び受験資格取得までのカリキュラムの紹介展示	学生が直接、参加する機会の設定	参加(1回)
中学校での介護体験等の実施	介護福祉コースの学生が中学生に対して高齢者の疑似体験やゲームを行い、福祉や介護を楽しく学ぶ機会を提供する。	10月	授業「福祉学習を通して大学生から生き方を学ぶ」 期日:10月9日(金)13:45~15:35 場所:新潟市立葛塚中学校 内容:大学生による中学生への講話(大学でどのようなことを学んでいるのか、大学生生活について、将来の夢・進路及び)及び介護技術の実演(車いすの使い方、高齢者・障がい者に対する移動介護、高齢者疑似体験) 参加者:中学2年生104人、大学生7人、他	他の中学校で実施できる機会の確保及び、小学校でも開催する機会の情報把握	実施(1回)
社会福祉学部「求人説明会」の開催	県内の主な社会福祉法人等が社会福祉学部4年生に対して求人説明を行う。	6月	web版求人説明会を実施 期日:6月5日 方法:「manaba」に掲載 参加法人:30法人	学生の理解度の向上、対面方式での開催	期日:5月27日(土) 場所:新潟医療福祉大学Q棟 参加者:参加学生4年生87人 参加法人:19法人 方法:各教室に分散(1教室1法人)し、対面式で実施
「就職セミナー・ガイダンス」の開催	社会福祉学部3・4年生に対する就職支援	通年	3年生に4回、4年生に対して3回程度実施	学生の理解度の向上	実施(7回程度)